

せいじの

平成28年3月 148号

青磁野リハビリテーション病院
せいじの健診センター
介護老人保健施設 青翔苑
グループホーム あおばの家
地域介護相談センター けあまっぷ城西
訪問看護ステーション城西
せいじのヘルパーステーション
サービス付き高齢者向け住宅ファインテラスせいじの
熊本市西2地域包括支援センター



医療法人金澤会
理事長 金澤 知徳

新しい年が始まって2ヶ月が経ちましたが、皆様は如何お過ごしでしょうか。年末に冬日がやってまいりましたが、元日はお天気もよく、気持ちの良い新年を迎えることが出来ましたね。

私事になりますが、今年のお正月は賑やかな雰囲気で迎えることとなりました。と云いますのも昨年10月に息子が結婚し、11月には娘が二人目の子を産んだのです。娘は10月中旬から里帰りして慈恵病院さんにお世話になったのですが3kgを超える元気な男の子の誕生に皆ビックリポンで、よく泣きよくオッパイを飲み、存在感十分の仲間入りです。

私自身は年末も極めて忙しく、なかなか皆で夕食を囲むことも出来ずにただ珍しく早目に戻れた夜に孫二人をお風呂に入れることだけが私の存在の証となりました。

大晦日には息子たち新婚夫婦がやってきてワイワイ話しながら一緒に年越しそばを美味しく食べました。所帯が一つ増えたのだなと正に実感したものです。娘婿は残念ながら当直でしたが、明けてから急いで来てくれました。



初詣は石神神社・本妙寺・出水神社に参りましたが、出水神社の混雑には驚きましたね。後で聞いたのですが八代に大きな客船が入港しバス数十台で観光したこと、それでも快晴で、寒さも少し緩んで清々しい気持ちで新年に寄せて手を合わせました。ささやかな家族ですが、皆で顔を合わせて、言葉を交わす新しい家族のスタートを頼もしく思える年末年始でした。

2日には娘たちが帰って孫の声も聞こえなくなり寂しい中に家内と二人きりになりました。10月中旬からの2か月半の戦いが終わったのです。ホッとするやらガクッとくるやら、しかし息子の結婚と娘の出産、本当にありがたいことでした。それにしても家内に感謝です。今年もどうぞ宜しくと心から念じたものです。

これが今年のお正月です。ふつうで、あたりまえのお正月でした。家族みんなをありがたく思いました。

皆様にも、どうぞ本年が心豊かな一年でありますように、心よりお祈り申し上げます。



せいじの148号

- 回復期リハビリテーション病棟とは
- 介護保険ご利用者におけるマイナンバーの 取扱いについて
- クローズアップ！臨床検査科
- 看護部の制服リニューアルについて



回復期リハビリテーション病棟とは

回復期リハビリテーション病棟は、平成12年の医療法改定において定義・導入されました。当院では平成14年に25床の病床でスタート、その後、平成20年に60床に増床し、院内で一番大きな病棟となりました。

脳梗塞や大腿骨頸部骨折などの決められた疾患の患者様を、発症または手術から1~2ヶ月の時期（回復期）に受け入れます。ADL（日常生活動作）能力の向上による寝たきりの防止と家庭や社会への復帰を目的とし、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療相談員、管理栄養士、薬剤師が連携を図り、協同でリハビリテーションプログラムを立案・実施しています。

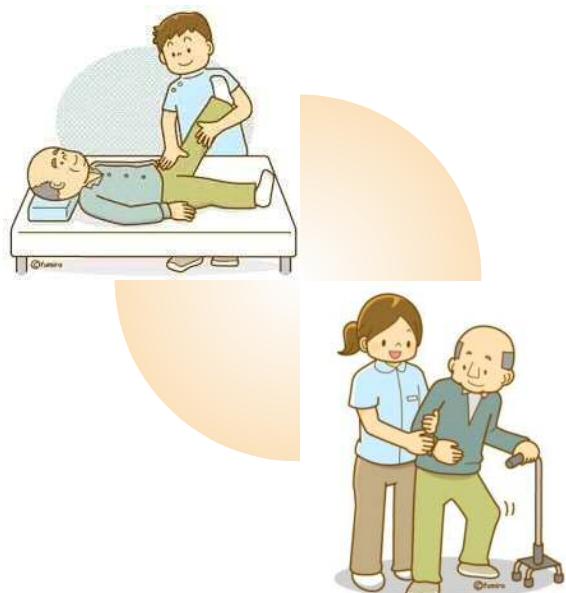
まずは病気の管理が基本となります。私たち看護・介護職は病気の再発と合併症の予防に努めると同時に、訓練室で獲得した能力を実生活で生かせるように「できるADL」と「しているADL」へと支援します。入院中の生活の場である病棟においても「廊下を歩く」「食事をとる」「トイレに行く」「お風呂に入る」「衣服を着替える」など、生活動作を実生活に結びつけるように援助します。

また、早期にご自宅へ訪問し、環境の確認や動作の確認を行い、生活を想定しての問題点の抽出や解決策を見出しています。ご家族へもリハビリテーションの見学や介助指導等、積極的に関わっていただいている。退院へ向けて試験的に外出や外泊を行うなど、介護者への負担軽減や患者様が、より自立した生活が送れるように、介護保険等でのサービス利用についての検討も行います。

高齢社会の現在、昨年1年間に当院の回復期リハビリテーション病棟に入院された患者様268名の平均年齢は82歳であり高齢の一途をたどっています。

誰もが最後まで健康で自分らしい生活を送りたいと思っています。私たちは患者様やご家族にしっかりと寄り添い、ADLの向上だけではなく、「その人らしい生き方」と一緒に探しながら、「今」出来ることを一つひとつ丁寧に行えるチーム医療をさらに進めていきたいと考えています。

北病棟 師長 内村しのぶ
師長 高田成子



医科歯科連携について

熊本県では、平成26年度から患者様の口腔機能維持・向上を目的として、回復期リハビリテーション病棟を有する病院と歯科医師会が連携して入院中から退院後も継続して治療が受けられるシステムが構築されており、平成28年1月から青磁野リハビリテーション病院、青翔苑も参加する運びとなりました。

入院中、入所中に歯科治療が必要な場合、医科歯科病診連携を通じて、登録歯科医による往診を行います。

また、治療途中で退院した場合や、退院・退所後の口腔内トラブルについても、安心して治療を受けることができます。

リハビリテーション部 歯科衛生部門



介護保険ご利用者におけるマイナンバー制度

平成28年1月よりマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）が始まりました。このマイナンバー制度とは、平成27年10月から日本国内の全住民に通知される12桁の個人番号（マイナンバー）によって複数の機関に存在する個人の情報が、同一人物の情報であるということを確認するための社会基盤であり国民の利便性を向上させるとともに行政運営の効率化を図ることを目的とした制度です。



●介護保険各種申請書への個人番号の記載について●

各種申請書には原則として個人番号を記載していただくこととなります。しかし、介護保険被保険者は高齢者であること等を考慮し、被保険者の個人番号が把握できない場合には、個人番号の記載がなくても申請は受理します。皆様方には、個人番号制度導入後も代行申請等について、ご協力よろしくお願いします。

（熊本市から介護保険事業所宛通知の一部抜粋）

当初は社会保障・税・災害対策分野での利用が可能になります。平成28年1月より利用が開始され、介護保険制度の各種申請にも個人番号の記入が始まります。介護保険制度の申請書には、原則として個人番号を記載することになりますが、取り扱いについては保険者（市町村）ごとに異なるとのことです。熊本市は「当分の間は、個人番号の記載がなくても申請は受理する」との連絡がありました。

また、ご家族等の代行申請についても同様とのことです。不明な点がございましたら、地域の包括支援センターまたは居宅介護支援事業所へご相談ください。

介護老人保健施設 青翔苑 副施設長 永廣研二

看護部の制服がリニューアル!

～ワークライフバランスの視点で考えた制服～

「仕事にメリハリをつけ、きちんと仕事を
終えて、早く帰れたらいいね！」

当院では、ワークライフバランス（仕事と生活の両立）に取り組んでいます。働く職員が笑顔で元気に、職員の幸せは患者さんの幸せ、そして家族の幸せを招くという視点で捉えて進めています。これまで、多様な勤務体制や誕生日休暇、時間単位の有給休暇を導入してきました。

そして9月から24時間シームレスな看護・介護をおこなう看護部職員の業務時間が、できるだけ可視化できるものはないかと考え、看護部職員の制服を新たにリニューアルいたしました。

各部署から人選した、制服改定プロジェクトを立ち上げ、看護・介護職員7名で、世代、男女を考慮した、まず自分達が着て働きたい制服を選びました。そして、日勤と夜勤の区別をしようと考えました。

《新しい介護職員の制服》

介護職員は看護職員と区別
できるグリーンのライン



《新しい看護職員の制服》

日勤帯は爽やかな
ブルーのライン



夜勤帯は落ち着いた
レッドのライン

誰が見てもわかるように、日勤や深夜明けの職員がでいつまで残っていないようにしようと、勤務帯に応じてラインの色を変えることを決めました。リニューアルから3ヶ月経過した頃には部署が違っても職種が違っても「あとどれくらいで終わるの?」「手伝おうか」「お疲れさまでした。気をつけて帰ってね」の言葉かけができるようになりました。医局の先生方も「一目瞭然!夜勤入り、明けが分かり、指示を出すときに分かりやすい。いいね。」と好評です。

看護部職員からも、制服が変わると気持ちもシャキッとなり笑顔で仕事ができています、との声が聞かれています。

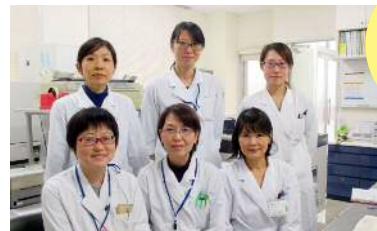
看護部長 寺田美智子

クローズアップ！～青磁野リハビリテーション病院 臨床検査科 編～

私たち臨床検査科は、外来、病棟、健診の検査業務をスタッフ6名で行っています。業務内容は生理検査と検体検査に分かれます。生理検査は心電図・超音波検査・呼吸機能・脳波等を行い、超音波検査では腹部・心臓・血管・甲状腺・乳腺など実施し、あらゆるニーズに応えています。

検体検査では、患者さんをお待たせしないをモットーに正確で早い検査結果の報告に努めています。また、院内のチーム医療にも参加し検査から発信できる情報を提供しています。今後も付加価値のある検査結果で、患者様やご利用者の皆様に役立つように、スタッフ全員が日々研鑽を重ねたいと思います。

臨床検査科主任 山口里恵



臨床検査科
スタッフ

金澤会のデータ

(平成27年度上半期)

病院診療情報

- ・外来患者延数 18,324人(1日平均122.2人)
- ・延べ入院患者数 37,291人(1日平均203.8人)
- ・新入院患者数 415人
- ・退院患者数 414人
- ・平均在院日数
　　地域包括ケア病棟 35日
　　回復期リハビリテーション病棟 73日

訪問看護ステーション城西

- ・延べ訪問件数 3,698件

訪問リハビリテーション

- ・延べ訪問件数 2,006件

せいじのヘルパーステーション

- ・延べ訪問回数 17,606件

けあまっぷ城西

- ・延べ計画件数 2,715件

熊本市西2地域包括支援センター

- ・延べ計画件数 2,963件

せいじのデイケアセンター

- ・延べ利用者数 5,501人(1日平均37.2人)

青翔苑(通所リハ)

- ・延べ利用者数 4,955人(1日平均31.6人)

青翔苑(通所介護)

- ・延べ利用者数 1,260人(1日平均 8.0人)

青翔苑(入所)

- ・延べ利用者数 9,220人(1日平均50.4人)

あおばの家(通所介護)

- ・延べ利用者数 222人(1日平均1.69人)

ファインテラスせいじの(通所介護)

- ・延べ利用者数 1,496人(1日平均11.4人)

せいじの健診センター

- ・ドック(日帰り・宿泊) 115件
- ・健診 1,490件

金澤会職員総数(平成28年3月1日現在)

- | | |
|-------|------|
| 常勤職員 | 436人 |
| パート職員 | 115人 |
| 合計 | 551人 |

外来診療担当表

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金澤知	金澤知	石本	金澤知	森	古賀/菊川
		石本	森	竹内	岩岡	金澤尚	—
	午後	釘宮	上野	金澤尚	釘宮	安野	—
		上野	竹内	森	釘宮	高木	橋本
		釘宮	岩岡	(予約制) 安野	(予約制) 石本	岩岡	—
	—	橋本	—	—	橋本	—	—
整形 外科	午前	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	—
	午後	予約制					—

《受付時間》 午前／8:30～12:00

午後／13:30～17:00

《診療時間》 午前／9:00～12:00

午後／14:00～17:00



せいじの148号 平成28年3月

発行●医療法人金澤会

発行人●金澤 知徳

編集●青磁野リハビリテーション病院 総務課

〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15

TEL096-354-1731 FAX096-354-1736

<http://www.seijino.or.jp/>



平成23年12月更新